

社会福祉充実残額算定シート

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	4,913,675,846
負債 (b)	1,399,199,856
基本金 (c)	808,981,419
国庫補助金等特別積立金 (d)	1,263,042,244
合計 (a - b - c - d)	1,442,452,327

手入力 (必須入力) するセルです (※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。)

計算式が設定されており、入力することはできません。

手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください)

合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。

プルダウンリストから選択するセルです。直接入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における負債対照表価額

項目	金額
合計 (a)	3,942,399,468

(2) 対応負債

項目	金額
1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金	
1年以内返済予定設備資金借入金	139,684,000
1年以内返済予定リース債務	3,086,520
社会福祉連携推進業務設備資金借入金	
設備資金借入金	852,049,000
リース債務	15,544,080
合計 (b)	1,010,363,600

(3) 合計

項目	金額
財産目録合計 (a)	3,942,399,468
対応負債合計 (b)	1,010,363,600
対応基本金 (c)	808,981,419
国庫補助金等特別積立金 (d)	1,263,042,244
合計 (a - b - c - d)	860,012,205

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (小数点以下第4位を 四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率					自己資金比率			合計額		
						①建設工事費 デフレター	②1m当たり単価上昇率			①、②のいずれか 高い方の率	③一般的自己 資金比率	④建設時自己資金比率			③、④のいずれか 高い方の率	
							一般的1m当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の取 得価額 (b)	建設時延べ床 面積 (c)			a/ (b/c)	建設時自己資金 (d)			d/b
ウイラ城陽 軽費老人ホーム	1982				423,102,060	1.584	290,000	440,550,952	-	-	1.584	24%	-	-	24.0%	160,846,479
ウイラ山科 特別養護老人ホーム	1999				962,420,103	1.346	290,000	1,453,589,044	-	-	1.346	24%	-	-	24.0%	310,900,190
加茂の里 特別養護老人ホーム	2000				940,084,197	1.343	290,000	1,541,954,679	-	-	1.343	24%	-	-	24.0%	303,007,938
加茂の里 訪問介護ステーション	2006				12,753,397	1.242	290,000	17,798,401	-	-	1.242	24%	-	-	24.0%	3,801,532
ウイラ福荷山 特別養護老人ホーム	2007				821,888,611	1.281	290,000	1,336,803,208	-	-	1.281	24%	-	-	24.0%	252,681,434
ウイラ鳳凰増築 (京都府宇治市宇治里尻36-35)	2017				105,198,499	1.175	290,000	433,686,301	-	-	1.175	24%	-	-	24.0%	29,665,976
ウイラ鳳凰 (京都府宇治市宇治里尻36-35) リノリカ-配管増設	2006				472,499	1.242	290,000	472,500	-	-	1.242	24%	-	-	24.0%	140,842
ウイラ鳳凰 (京都府宇治市宇治里尻36-35)	2007				751,672,974	1.281	290,000	1,308,433,663	-	-	1.281	24%	-	-	24.0%	231,094,339
東部デイサービスセンター	2003				18,908,441	1.372	290,000	33,083,890	-	-	1.372	24%	-	-	24.0%	6,226,171
合計																1,298,364,901

※ 割合は小数点第4位四捨五入。

(3) 設備・車輛等の更新に必要な費用

項目	金額
合計	896,953,546

(4) 合計

項目	金額
将来の建替費用	1,298,364,901
大規模修繕に必要な費用	330,447,416
設備・車輛等の更新に必要な費用	896,953,546
合計	2,525,765,863

(2) 大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ( ( a×b ) × c/ ( a+c ) )	
423,102,060	23%			17,448,892	3,854,292	3,854,292
962,420,103	23%			491,168,941	74,796,586	74,796,586
940,084,197	23%			601,870,482	84,396,808	84,396,808
12,753,397	23%			5,045,004	831,446	831,446
821,888,611	23%			514,914,597	72,812,932	72,812,932
105,198,499	23%			328,487,802	18,326,558	18,326,558
472,499	23%			1	0	0
751,672,974	23%			556,760,689	73,565,404	73,565,404
18,908,441	23%			14,175,449	1,863,390	1,863,390
合計						330,447,416

4. 「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	3,435,472,014	12	858,868,003

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	3,435,472,014	12	3,435,472,014

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計	計算の特例適用
活用可能な財産	1,442,452,327		
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	860,012,205		
再取得に必要な財産	0	4,295,484,219	※「5. 計算の特例」の適用有無を変更する場合、以下のセルから選択すること。
必要な運転資金	0		
計算の特例	3,435,472,014		
合計	-2,853,030,000		適用する

7. 「現況報告書に記載する「社会福祉充実残額」

項目	金額
社会福祉充実残額	-2,853,030,000
社会福祉充実計画用財産	
合計	-2,853,030,000